

2 学年 臨時休業中の課題（6 月 1 日～12 日）

横須賀高等学校

科目	担当	学習の目標	課題等	評価について
現代文 B	立花 加藤 吉田	課題型小論文の書き方の基礎を学ぶ。	<p>○国際ユース作文コンテスト「若者の部」への出品を課題とします。</p> <p>テーマ「2030年の私からの手紙」 文字数 1600 字以内</p> <p>詳細はロイロノートで配信する PDF で確認すること。</p> <p>【第 1 週】</p> <p>〈書く自信がある人〉第 1 稿を書く。</p> <p>〈書く自信がない人〉スタディサプリ「高 1・高 2・高 3 小論文入門」を受講し、小論文の基礎について学ぶ。</p> <p>https://learn.studysapuri.jp/ja/courses/56bd86c8c9cdfc5938031696</p> <p>【第 2 週】</p> <p>〈書く自信がある人〉繰り返し推敲し、作品を応募した後に学校へ提出。</p> <p>〈書く自信がない人〉作文を書き、応募した後に学校へ提出。</p>	<p>【提出】</p> <p>○提出締め切り 6/14(日)</p> <p>○提出方法</p> <p>作品を応募後、PDF ファイルに変換してロイロノートで提出。PDF への変換ができない人はスクリーンショットなどでも構いません。Word ファイルで提出しないように注意。</p> <p>○「書くこと」の観点で評価します。また、学習への取り組みについて「関心・意欲・態度」として評価します。</p> <p>【評価規準】</p> <p>・目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現できる。（書くこと）</p>
古典 B	池上 加藤 立花	動詞・形容詞・形容動詞の基本を確認する。	<p>【第 1 週】</p> <p>①「基礎が身につく古典 ival3」古文 1（8・9 頁）、古文 2（10・11 頁）に解答する。</p> <p>まず、自分の力で解答する。その後、参考書や辞書を活用して正解を期して解答する。</p> <p>その際、調べて解答したところがわかるようにしておくこと。</p> <p>② 答え合わせをする。</p> <p>【第 2 週】 6 月第 1 週中に指示します。</p>	<p>【提出】</p> <p>○提出締め切り 初回の古典の授業時</p> <p>○提出方法 問題集を提出。名前を必ず書いておくこと。</p> <p>○提出されたものについて、学習への取り組みについて「関心・意欲・態度」を評価する。</p> <p>【評価規準】</p> <p>・古典の学習に取り組み、わからないところを調べ、理解しようとしている。（関心・意欲・態度）</p>

<p>世界史 B</p>	<p>山田聡 中野</p>	<p>イスラーム世界 の文化および ヨーロッパ 世界の形成に ついて学ぶ。</p>	<p>週ごとに、以下の範囲の教科書を学習し、ロイロで配信される小テストに取り組み、提出する。</p> <p>【第1週】教科書 p 115～119 「4 イスラーム文明の発展」</p> <p>【第2週】教科書 p 120～123 { 「ヨーロッパの風土と人々」 「ゲルマン人の大移動」</p> <p>●教科書の該当ページのデータをロイロの資料箱に入れておきます。</p> <p>●スタディサプリは「スタンダードレベル世界史」第4講のチャプター1を視聴することを勧めます。</p>	<p>【提出】</p> <p>○提出締め切り</p> <p>第1週 6月7日(日)</p> <p>第2週 6月14日(日)</p> <p>○提出方法</p> <p>週ごと小テストの解答をロイロの提出箱に提出。</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ世界の特徴的動きに興味・関心をもち、意欲的に学ぼうとしている(関心・意欲・態度) ・ヨーロッパ世界の政治・社会の動きについて、多角的に考察し表現している(思考・判断・表現) ・資料を的確に選択し活用している(資料活用技能) ・ヨーロッパ世界が形成された歴史的過程について知識を持ち、理解できている(知識・理解)
<p>日本史 B</p>	<p>佐藤 中野 平山</p>	<p>日本古代の文 化史</p>	<p>Googleクラス上で割り当てられる課題プリントに取り組み、自己採点したうえで画像をクラスルームで提出する。</p> <p>【第1週】課題プリント 大問(1)と大問(2)</p> <p>【第2週】課題プリント 大問(3)～(5)</p> <p>●弥生時代から奈良時代までの文化についてある程度自分なりに知識を整理したうえで、まずは何も見ずに解き、わからなかった部分は自分で調べ、全ての問題に答えたいうえで自己採点を行うこと。</p>	<p>【提出】</p> <p>○提出締め切り 6月14日(日)</p> <p>○提出方法</p> <p>2週分まとめてGoogleクラスルーム上で提出する。</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の力ですべての問題に答えようとしている。(関心・意欲・態度) ・日本古代の文化について正確に理解している。(知識・理解)

<p>地理 B</p>	<p>高橋 海老原</p>	<p>地形・気候の ポイントにつ いて押さえ、 思考し、表現 する。</p>	<p>★<u>単元・題材：「地形」「気候」</u> 【第1・2週】授業動画を視聴し、授業に関する「シート」を提出しなさい。 ・現在1学期に扱う部分（地形・気候）の動画を作成しています。今後随時 Google Classroom 上にこれらの動画をアップしていく予定です。 →この授業動画を視聴し、その内容の要点についてまとめなさい。（記入シートは、今後 Google Classroom にて提示します。随時確認すること。） ◎すべての課題は、これまでと同様、Google Document または Microsoft Word で作成し、提出できるようにすること。</p>	<p>★Google Classroom にて提出できるように準備 しています。<u>提出詳細については別途指示し ます</u> ◇<u>提出期限：すべて6月14日(日)まで</u> ○1学期の評価材料とします。 【評価規準】 ・授業におけるポイントを見つけ、誠実に課題に 取り組んでいる。（関心・意欲・態度） ・内容を整理し、わかりやすく表現できている。 （思考・判断・表現） ※課題に関する詳細事項の提示や、課題に関し て変更がある場合は、Google Classroom にて連絡 します。</p>
<p>郷土史 かながわ</p>	<p>海老原 高橋</p>	<p>ハザードマッ プおよび振り 返りアンケー トの作成</p>	<p>★<u>「ハザードマップ」に関する振り返りアンケートに回答する。</u> （振り返りアンケートは、今後 Google Classroom にて回答ができるよう、 詳細を指示します。随時確認すること。） ※4月に課題とした「ハザードマップ」は、初回授業日に提出の予定です。 （登校開始時期が現在の予定よりも著しく遅くなる場合、提出方法を変更 する可能性があります。その場合またお知らせします。） →<u>「ハザードマップ」は1学期の評価材料の大部分を占めており、</u> <u>全員提出が必須の課題です。必ず提出できるように準備しておくこと。</u></p>	<p>★振り返りアンケートに関しては、5月分課題 をそのまま引き継ぎます。Google Classroom に て提出できるように準備しています。提出期 限は別途指示します。 【評価規準】 ・課題を作成するうえで、必要な情報を調べ、誠 実に課題に取り組んでいる。（関心・意欲・態度） ※課題に関する詳細事項の提示や、課題に関し て変更がある場合は、Google Classroom にて連絡 します。</p>

<p>数学 Ⅱ</p>	<p>大野 関谷 村澤 柴田</p>	<p>2直線の関係について考察できる力を養う。 円を、xとyの2次方程式で表せることを知る。</p>	<p>・②についてはロイロノートで示します。</p> <p>【1週目】①教科書p77～84（2直線の関係）を復習する。（前回の課題で予習済み） ②チャート式（6問）※教科書に対応した問題</p> <p>【2週目】①教科書p86～89（円の方程式）を自習する。 ②4STEP（4問）※教科書に対応した問題</p> <p>・スタサプもぜひ活用してください。課題の範囲と対応する講義を載せておきます。</p> <p>【1週目】「高1・高2 ベーシックレベル数学IIB」第5講チャプター7・8 【2週目】「高1・高2 ベーシックレベル数学IIB」第6講チャプター1・2</p>	<p>【提出】</p> <p>○提出締め切り 後日指示します。</p> <p>○ノートは評価対象となる。</p> <p>○「どれだけ解けているか」ではなく、「きちんと取り組んでいるか」を評価する。</p> <p>【評価規準】</p> <p>・各単元に興味関心を持ち、意欲的にかつ前向きに取り組んでいる。（関心・意欲・態度）</p> <p>・各単元の考え方を身に付け、事象を数学的に捉え、論理的に考えることができる。（数学的な考え方）</p> <p>・各単元について、事象を数学的に表現・処理する方法を身に付けている。（数学的な技能）</p> <p>・各単元における、基礎的・基本的な概念や各用語の定義などを体系的に身に付けている。（知識・理解）</p>
<p>数学 B</p>	<p>大野 関谷 村澤 柴田</p>	<p>位置ベクトルの概念や、ベクトル方程式の考え方を理解し、その有用性を認識すると共に、平面図形に関する様々な問題へ活用する能力を身に付ける。</p>	<p>・②についてはロイロノートで示します。</p> <p>【1週目】①教科書p33～35（ベクトルと図形）を自習する。 ②4STEP（3問）※教科書に対応した問題</p> <p>【2週目】①教科書p36～38（ベクトル方程式）を自習する。 ②4STEP（2問）※教科書に対応した問題</p> <p>・スタサプもぜひ活用してください。課題の範囲と対応する講義を載せておきます。</p> <p>【1週目】「高1・高2 ベーシックレベル数学IIB」第24講チャプター5と6 【2週目】「高1・高2 ベーシックレベル数学IIB」第24講チャプター7と8</p>	<p>【提出】</p> <p>○提出締め切り 後日指示します。</p> <p>○ノートは評価対象となる。</p> <p>○「どれだけ解けているか」ではなく、「きちんと取り組んでいるか」を評価する。</p> <p>【評価基準】</p> <p>・各単元に興味関心を持ち、意欲的にかつ前向きに取り組んでいる。（関心・意欲・態度）</p> <p>・各単元の考え方を身に付け、事象を数学的に捉え、論理的に考えることができる。（数学的な考え方）</p> <p>・各単元について、事象を数学的に表現・処理する方法を身に付けている。（数学的な技能）</p> <p>・各単元における、基礎的・基本的な概念や各用語の定義などを体系的に身に付けている。（知識・理解）</p>

<p>化学基礎</p>	<p>片桐 渡辺 西方</p>	<p>日常生活や社会とのかかわりへの関心を高め、化学の基本的な概念や原理・法則を理解・活用し、課題に対応できるようになることを目標とする。</p>	<p>スタンダード、アドバンス共通の内容です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の課題に取り組む前に5月11日～5月29日までに行った課題を写真に撮り、ロイロの提出箱に提出をすること。(自分の提出箱は【化学基礎 クラス分けについて】で確認すること。) ・教科書を参考に以下の課題に取り組む。教科書が手元がないものは、ロイロの資料箱のまとめを参考にすること。※レポート用紙やルーズリーフ等を用いる場合は()の語句だけにならないように簡潔にまとめる。 <p>【第1週】 化学基礎 休業中課題④ () および問いを完成させる。</p> <p>【第2週】 化学基礎 休業中課題⑤ () および問いを完成させる。</p>	<p>【提出】</p> <p>○提出締め切り 6月14日(日)</p> <p>○提出方法</p> <p>2週までの学習を終えたところで、ロイロの提出箱に提出をすること。</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究している。(関心・意欲・態度) ・自然の事物・現象を分析的・総合的に考察できる。(思考・判断・表現) ・自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解している。(知識・理解)
<p>物理総合</p>	<p>木浪</p>	<p>物体にはたらく力と運動の関係を理解し、物理の基本的な概念や原理・法則を活用し、数式化できることを目標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チャート式新物理 p.36-46 を読んで、力の分解、作図を理解すること。 ・そのうえで、チャート式新物理 p.47 以降の運動の法則を読み、問題を解いてください。 ・問題で解いたことを活用して、運動方程式の立て方について考えましょう。 ・内容が難しく理解できない場合は、どこが分からないのか、わからないところを明確にしておくこと。 ・考え方として、物体の質量と物体に生じる加速度の積が力になるという概念を身に付けましょう。 ・授業では、この部分を解説したあと、複雑な運動方程式に取り組みます。 ・自分で問題を考え、解かなければ、物理を理解することはできません。 <p>◎理解しなければならないことなので、時間がかかるとは思いますが、物体にはたらき、加速度を生じさせる力は「どのような力」なのか、自分で見出してください。チャート式新物理 P.52 の解説をじっくり読んでみましょう。</p>	<p>【提出】</p> <p>○提出締め切り 6月14日(日)</p> <p>○提出方法 授業開始時に確認します。</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究している。(関心・意欲・態度) ・自然の事物・現象を分析的・総合的に考察できる。(思考・判断・表現) ・自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解している。(知識・理解)

生物総合	原田中	<p>自然の中に潜む法則性を探究する中で、理論的な考察をする能力を養い、それらを活用し、課題に対応できるようになることを目標とする。</p>	<p>・リードα生物、スクエア最新図説生物が手元がないものは、最初の登校日に必ず持ち帰ること。</p> <p>クラス名【74期生物総合】</p> <p>参加コード【83865】</p> <p>https://drive.google.com/file/d/1cHsf32ykkAF1GfoBy505Kf4AWoJP_x34/view?usp=sharing</p> <p>【第1週】「興奮の伝達」等について調べまとめる。詳細はロイロと上記のURLにて別途提示しますので確認してください。</p> <p>【第2週】リードα生物のP.143～P.144の問題に取り組み、答え合わせを赤で行う。</p>	<p>【提出】</p> <p>○提出締め切り 【6/14(日)】</p> <p>○提出方法</p> <p>2週までの学習を終えたところで、ロイロの提出箱に提出をする。</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究している。(関心・意欲・態度) ・自然の事物・現象を分析的・総合的に考察できる。(思考・判断・表現) ・自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解している。(知識・理解)
体育	輪湖佐藤三浦伊藤鵜野榎本	<p>自分の体調や状況に合わせて自分の体と向き合い、健康増進についての理解を深める。</p>	<p>★1週間に1回、健康増進のために行った活動をロイロで報告。(全2回)</p> <p>活動の内容は、これまでの知識や経験を踏まえ、健康増進のためにできることを考えて実施すること。</p>	<p>【提出】</p> <p>○提出締め切り</p> <p>活動報告は各週の日曜日 23:59 まで</p> <p>○提出方法</p> <p>活動の内容をロイロで1枚にまとめて提出箱に課題ごとに提出。ロイロが利用できない者は榎本宛に学校へ連絡をすること。</p> <p>○「思考・判断」の評価材料にします。</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。(思考・判断)

<p>保健</p>	<p>輪湖 佐藤 榎本</p>	<p>生涯を通じる健康について、健康を保持増進するための課題を明確にし、課題解決に向けて自らの健康を適切に管理し、環境を改善していくための基礎的な事項を理解できるようにする。</p>	<p>★ロイロにおいて以下の課題を提出。(量は問わないものとするが、条件をふまえたうえで回答すること。)</p> <p>教科書 p. 80～83 を読んで、次の課題に取り組みなさい。(ロイロの資料箱に教科書の写真データを入れてあります。)</p> <p>課題①日本では「国民皆保険」の制度を実現し、国民に対し少ない負担で医療を受けられるようなシステムが構築されているが、他の国を見てみるとシステムは多様である。今日の新型コロナウイルスにおいても、その医療保険の制度が悪影響を及ぼし、感染が拡大した国もみられる。他の国(1つを挙げても、何か国かを挙げてもOK)の医療保険の制度と比較しながら、日本の医療保険の制度についてあなたの考えをまとめなさい。</p> <p>【第1週】教科書 p. 80～83 を読み、理解を深める。</p> <p>【第2週】課題①に取り組む。</p>	<p>【提出】</p> <p>○提出締め切り それぞれ 6/14(日) 23:59 まで</p> <p>○提出方法：ロイロの提出箱に課題ごとに提出。2つの提出箱を作っておきます。ロイロが利用できない者は榎本宛に学校へ連絡をすること。</p> <p>○「関心・意欲・態度」「思考・判断」「知識・理解」の評価材料にします。</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人生活及び社会生活における健康・安全について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。(関心・意欲・態度) ・個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。(思考・判断) ・個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。(知識・理解)
<p>英語表現Ⅱ</p>	<p>水戸 福田 黒住</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題材に関する語いと「比較・対照」「時間的順序」の表現を適切に使い、英文を書く。 ・不定詞、動名詞、分詞についての知識を身につける。 	<p>*Dual Scope は、1週目のみロイロで配信します。それを見て、答えてください。</p> <p>【第1週】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 Unicorn Lesson 1 の Linking Words を用いて、1パラグラフ書く。(書く内容は問わない。) ・副教材【Dual Scope】の Lesson 6・7 <p>【第2週】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 Unicorn Lesson 2 の Linking Words を用いて、1パラグラフ書く。(書く内容は問わない。) ・副教材【Dual Scope】の Lesson 8 <p>※DualScope に関する文法事項については、スタディサプリ等を利用し、各自理解を深めておくこと。</p>	<p>【提出】</p> <p>○提出締め切り 1週目：6月7日(日) 2週目：6月14日(日)</p> <p>○提出方法 ルーブリックに解答し、写真を撮ってロイロで指定の場所へ提出。 ※写真で確認した時、どれを問いたか分かるように、<u>左上に「Lesson○」など分かりやすく記入</u>すること。</p> <p>○提出先 英語表現Ⅱの用意された提出箱へ提出。</p> <p>○提出された課題により、目標に記された「表現」「知識・理解」を評価する。また、学習への取り組みについて「関心・意欲・態度」として評価する。</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材について理解しようとし、文法の基礎知識を身に付けようとしている。(関心・意欲・態度) ・各単元のテーマに即して、自分で文章を書くことができる。(表現) ・与えられた範囲の文法についての知識を身に付けている。(知識理解)

<p>コミュニケーション英語Ⅱ</p>	<p>水戸 福田 黒住</p>	<p>・ 題材の概要や要点を的確に理解し、自分の意見を述べることができる。</p>	<p>*副教材については、1週目のみロイロで配信します。それを見て、答えてください。</p> <p>【第1週】</p> <ul style="list-style-type: none"> 副教材【Viewpoint Basic 英文読解の着眼点15】のLesson1・2の本文訳および問題の解答 副教材【10分間速読トレーニング】Lesson1の本文訳および問題の解答 <p>【第2週】</p> <ul style="list-style-type: none"> 副教材【Viewpoint Basic 英文読解の着眼点15】のLesson3の本文訳および問題の解答 副教材【10分間速読トレーニング】Lesson2の本文訳および問題の解答 <p>※課題該当箇所に関する文法事項については、スタディサブリ等を利用し、各自理解を深めておくこと。</p>	<p>【提出】</p> <p>○提出日締め切り 1週目：6月7日(日) 2週目：6月14日(日)</p> <p>○提出方法 ルーズリーフに解答し、写真を撮ってロイロで指定の場所へ提出。 ※写真で確認した時、どの Lesson を解答しているか分かるように、<u>左上に「Lesson○」と分かりやすく記入</u>すること。 ※可能な限り、各 Section の解答が片面1枚に収まるようにしてください。</p> <p>○提出先 コミュニケーション英語Ⅱのそれぞれ 教材・Lessonの提出箱へ提出。</p> <p>○提出された課題により、目標に記された「表現」「理解」・「知識・理解」を評価する。また、学習 への取り組みについて「関心・意欲・態度」として評価する。</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 題材について理解しようとし、文法の基礎知識を身に付けようとしている。(関心・意欲・態度) ・ 題材について読み、概要や要点を的確に理解することができる。(理解) ・ 本文中に使われている文法についての知識を身に付けている。(知識理解)
<p>PrinⅡ</p>	<p>大野 立花</p>	<p>PrinⅡの開始に向けた準備</p>	<p>【第1週】</p> <p>PrinⅡオリエンテーション動画の視聴 (URLは後日ロイロで配信します。)</p> <p>【第2週】</p> <p>後日指示します。</p>	<p>【第2週】の課題の連絡の際に提出物・方法について連絡します。</p>